

# 中津川市

市勢要覧



## 合併の経緯

廃藩置県 → 明治の大合併(市制町村制施行(明治22年4月) → 昭和大合併 → 平成の大合併

旗本領	中津川村	明治22年 町制施行→中津川町	明治30年4月 合併→中津町	昭和26年4月 合併→中津川町	昭和27年4月 市制施行→中津川市	昭和29年7月合併→中津川市	昭和31年9月合併→中津川市	昭和32年11月合併→中津川市	昭和33年10月合併→中津川市	中津川市 平成17年2月合併
旗本領	駒場村									
旗本領	手賀野村									
苗木藩	日比野村	明治7年9月 改称→苗木村								
苗木藩	瀬戸村	明治8年1月 合併→瀬戸村	明治22年7月 合併→苗木村	明治23年10月 町制施行→苗木町						
苗木藩	上地村									
旗本領 尾張藩	茄子川村		明治30年4月 合併→坂本村							
旗本領 尾張藩	千旦林村									
旗本領	落合村									
岩村藩	阿木村		明治30年4月合併→阿木村							
岩村藩	飯沼村									
尾張藩	湯舟沢村					昭和33年10月 分村→神坂村 (岐阜県中津川市と合併)				
尾張藩	馬籠村	明治7年9月 合併→神坂村								
尾張藩	山口村	明治7年9月 田立村と合併→山田村 明治14年2月 分村→山口村				昭和33年10月 分村編入→山口村 (峠・馬籠・荒町の3地区が山口村と合併)				
苗木藩	坂下村		明治22年7月 合併→坂下村	明治38年7月 分村→坂下村 明治44年1月 町制施行→坂下町						
苗木藩	上野村									
尾張藩	川上村			明治38年7月 分村→川上村						
尾張藩	加子母村									
尾張藩	付知村			明治30年4月 町制施行→付知町						
苗木藩	福岡村		明治22年7月 合併→福岡村	明治30年4月 合併→福岡村		昭和41年4月 町制施行→福岡町				
苗木藩	高山村									
苗木藩	田瀬村									
幕領	下野村									
苗木藩	蛭川村									



市公式 HP



市公式 SNS



facebook

### 中津川市役所

〒508-8501  
岐阜県中津川市かやの木町2番1号  
電話 0573-66-1111 (代表)  
FAX 0573-66-0634  
【開庁時間】  
月曜日から金曜日 8:30 ~ 17:15 (市民保険課戸籍住民係窓口は 18:15 まで)  
(土・日・祝日および 12月29日から翌年1月3日までは除く)

#### 【JR 中津川駅からお越しの方】

徒歩…25分程度 / タクシー…7分程度 / バス…10分程度  
駅前バスターミナル1レーン「中津川市役所、中津川合同庁舎、川上(かおれ)方面」に乗り、「中津川市役所」で降りてください。

#### 【車でお越しの方】

中央道中津川インターチェンジから国道19号線を長野県方面に2.5kmほど直進、「中村」交差点を左折500m程直進し「市役所入口」交差点を左折、200m程直進





# Jikabuki 地歌舞伎



- 1 明治座** (県指定重要有形民俗文化財)  
明治27年、村人によって建てられた芝居小屋は、廻り舞台やスッポン、両花道を備えた劇場形式の農村舞台です。
- 2 常盤座** (市指定有形文化財)  
入母屋、妻入りの形式で間口17.1m、奥行26.9mと立派なもので、農村の娯楽の殿堂としてにぎわった当時をしのぶことができます。
- 3 蛭子座** (市指定有形民俗文化財)  
地歌舞伎を楽しむために造られた、地上2階地下1階建ての木造大規模劇場型公民館です。



## 苗木城跡 国指定史跡

NAEGI CASTLE RUINS

岩山という制約された土地を利用し、天然の岩と人工的に作られた石垣を巧みに使った城郭で、天守はふたつの巨岩にまたがるように建てられていました。現在は天守跡に展望台があり、恵那山と木曾川の美しく雄大な眺めを楽しむことができます。また麓に苗木遠山史料館があり、苗木城に居住していた遠山家の史料が展示されています。



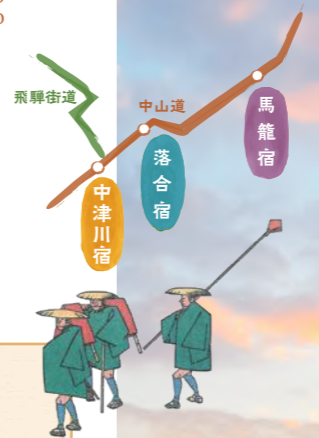
## KAIDO CULTURE 街道文化

街道の往来にもたらされた文化には、人形浄瑠璃や歌舞伎があります。岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている「恵那文楽」は、元禄時代(1688~1704年)に淡路のくづつ師が巡業の際に川上(かおれ)地区の人々に伝授したと伝えられています。また、市民が演じる「地歌舞伎」も盛んで6つの地歌舞伎保存会が活動しています。市内各地にあった芝居小屋の多くは火事や取り壊しで失われましたが、明治時代にこけら落としされた加子母地区の「明治座」を含む三つの芝居小屋が現存しています。



### 中山道と宿場町

市内には中山道の宿場が3カ所あります。往時の面影を色濃く残す馬籠宿、馬籠宿から落合宿に至る山道の途中には、一部江戸時代のまま残る「落合の石畳」。落合宿からさらに西に進むと、東濃随一の規模を誇った中津川宿に至ります。文豪・島崎藤村は、この街道筋を舞台に江戸から明治に移り変わる様を長編小説「夜明け前」に描きました。



### 藤村記念館

所在地：中津川市馬籠 4256-1  
「夜明け前」原稿  
明治・大正・昭和の三時代にわたって活躍した文豪・島崎藤村の文学館【昭和27年開館】。現在は、『嵐』『夜明け前』などの自筆原稿、遺愛品、周辺資料、明治大正時書稀本コレクションなど約6,000点を所蔵しています。藤村記念館の中庭では馬籠宿本陣の礎石、土蔵跡や現存する隠居所に往時の面影をしのぶことができます。



古くから商業が盛んで、多くの豪商を生んだ土地です。卯建のある家並みや宿場町特有の枡形も残り、庄屋屋敷も現存しています。



中津川から加子母の舞台峠を越え高山へと続く飛騨街道は、南北街道とも呼ばれ、人や物資の往來の多い重要な道でした。

歴史に育まれた文化、町並みや史跡、森林と清流、これらは地域の資源であり、「宝もの」です。リニア中央新幹線開業を見据え、この宝ものを活用し人を呼び込むまちづくりを進めています。

# いにしへの 街道への誘い



### 馬籠宿

明治・大正と度重なる火災で昔の建物はほとんど焼失しましたが、町並みは宿場の風情を残しています。島崎藤村は小説「夜明け前」で「急な坂道の町並みは、独特の景観をかもしだしている。」と表現しています。



### 落合宿 国指定史跡 ※

常夜燈のある古い町並み。美濃17宿で唯一、本陣が残っています。

### 落合の石畳 国指定史跡 ※

落合宿と馬籠宿の間の道は江戸時代の終わり頃に改修され、大雨による道のぬかるみを防ぐために、自然石を敷きつめ石畳の道に整備されました。

※国指定史跡「中山道」のうち「新茶屋の一里塚から落合宿の区間」と「新茶屋の一里塚」、「落合宿本陣」、「常夜灯」



## 恵那峡

中津川市と恵那市にまたがる木曾川の渓谷です。両岸に獅子岩、屏風岩などの奇岩怪石の景勝地が広がっています。



## 乙女渓谷

小秀山の麓、加子母川の源流となる乙女渓谷。遊歩道を歩けば、ねじれ滝、シャクナゲの群生地、夫婦滝と絶景が続きます。新緑や紅葉の季節がおすすめです。

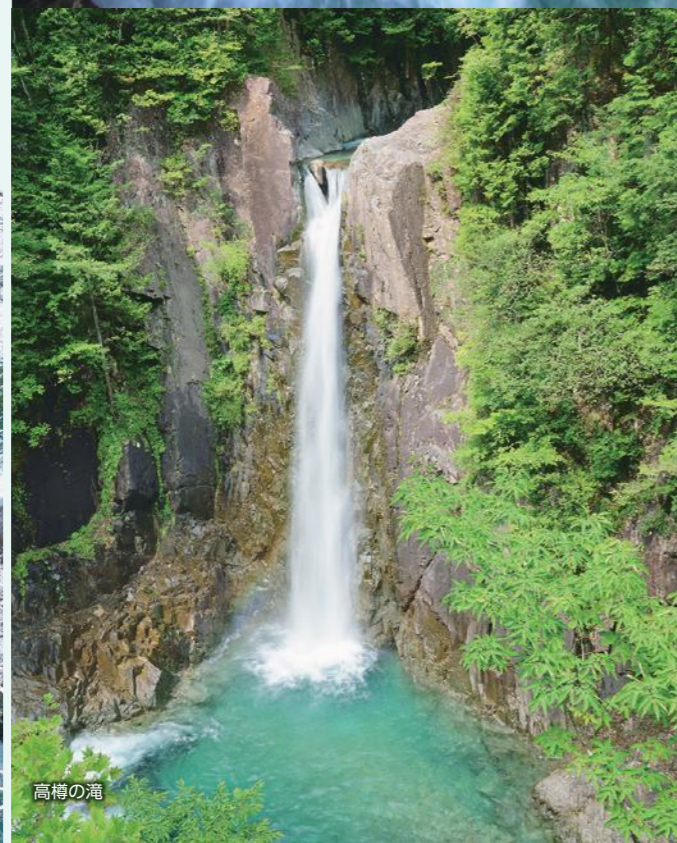


付知峡



# 癒しの青

不動滝



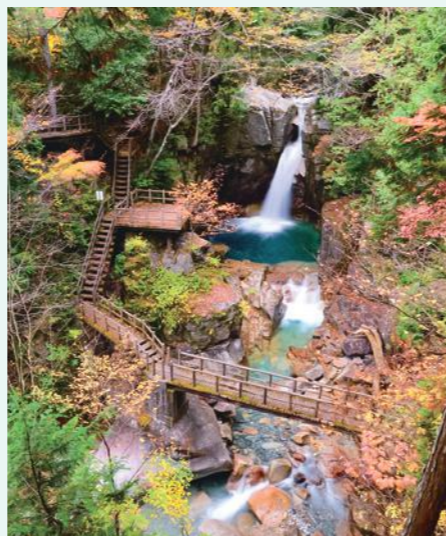
高榎の滝

## つけちきょう 付知峡

裏木曾県立自然公園の付知峡は、御嶽山系の雪解け水が清流付知川となり、渓谷美を創り出す山紫水明の別天地。四季折々に美しく、「森林浴の森日本100選」「飛騨・美濃紅葉33選」に、また付知川は「岐阜県の名水50選」に選ばれています。一帯にはキャンプ場やオートキャンプ場も多く、家族連れやグループでにぎわいます。

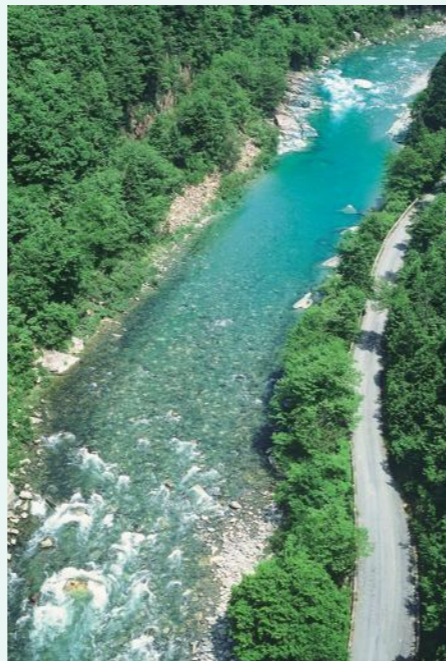
## 竜神の滝 (夕森溪谷)

落差約12mの滝で「岐阜県の名水50選」の一つ。その昔、滝に住む白龍が突然姿を現して天まで駆け上り、激しい雷雨が村を襲ったといひ、以来、竜神様が大切にまつられています。



## 福岡ローマン溪谷

奇岩や深淵が連なり、付知川の中流に位置する美しい溪谷。鮎釣りや河川敷のオートキャンプ場が人気です。



紹介動画



## 恵那山

標高2,191m、中央アルプス最南端の秀峰恵那山は、「日本百名山」(深田久弥著)のひとつとして知られ、春から秋には多くの登山者でにぎわいます。天照大神の胞衣(えな)を納めたという伝説より、もとは胞(えな)山と呼ばれていました。

外国人ではイギリス人宣教師ウォルター・ウェストン(1861～1940年)が、1893(明治26)年5月11日に初めて恵那山に登りました。平成13年に中津川観光協会により、銅像と公園が整備されました。



ウォルター・ウェストン像



ササユリ



## 富士見台高原

恵那山の北に続く標高1,739mの富士見台は、全山が千島笹に覆われた高原。南アルプス、中央アルプス、乗鞍岳、御嶽山、白山連峰、伊吹山まで360度のパノラマが楽しめます。

紹介動画



ツツジ

## 根の上高原

標高約930mの高原は、約20種類10万株のツツジに彩られる春、ウォーキングやボート遊びでにぎわう夏、紅葉の秋、ワカサギ釣りの冬と、四季を通じて自然とのふれあいが楽しめます。

## 桜の湖自然公園

豊かな水を満々と湛える桜の湖。その自然公園内には約6.5haのそば畑が広がり、そばの花が満開となる9月はまるで白い絨毯のよう。湖畔には全国オートキャンプ場協会4ツ星指定のオートキャンプ場があります。



三ツ緒伐り

## 木曾ヒノキ備林 (旧神宮備林)

江戸時代、裏木曾一帯の森林は、尾張藩の手厚い保護により、「松一本首ひとつ」と言われるほど厳しい管理のもとに守られてきました。そのおかげで加子母・付知・川上(かわうえ)地区に広がる国有林には、世界的にも希少な自然に近い状態のヒノキ、サワラなどの温帯性針葉樹林が広がっています。伊勢神宮御神木伐り出しのために先人から後世に伝えられてきた伐採方法である「三ツ緒伐り」や、木造家屋の建築など、匠の技を受け継いだ人たちがいます。

# 恵みの森



中津川市は、岐阜県の東南端に位置し、東は木曾山脈、南は三河高原に囲まれ、中央を東西に木曾川が流れています。東西28キロメートル、南北49キロメートル、総面積676.45平方キロメートル(琵琶湖とほぼ同じ)を有し、市のシンボル恵那山をはじめとする山々の懐に抱かれ、長い歴史を歩んできました。平成17年(2005年)に旧長野県山口村を含む7町村と合併し、現在に至ります。古くは東山道、中山道、飛騨街道などが通る交通の要衝として栄えた土地でもあり、今も街道沿いには情緒あふれる家並みが残されています。人々の往来が盛んな街道沿いでは、商業の発展とともに豊かな文化が育まれ、感性が磨かれる中から、文豪 島崎藤村や画家の前田青邨、熊谷守一を輩出しました。

宿場を中心に発展した商業のまちは、近代以降は中央本線や中央自動車道などの交通インフラが整備され、多くの企業が立地し、ものづくりのまちとしてさらなる発展をしてきました。その一方で、豊かな自然環境の中で、広大な森林から産出される東濃松などの木材や、夏秋トマトなどの優れた農産物を産出する農林業地域で、木工などの地場産業の盛んなまちでもあります。

リニア中央新幹線が開業すると、市内にできるリニア岐阜県駅から品川まで約1時間、名古屋まではわずか13分程度と交通の利便性が飛躍的に高まります。新たな「街道(みち)」となるリニア中央新幹線は、市内の産業にも大きな影響を与え、中津川市に大きな変化をもたらすこととなります。

リニア中央新幹線開業を見据え、目標年次を大阪開業5年後の2050年とした「リニアのまちづくりビジョン」(平成25年8月策定)に基づき、開業効果なども見極めながら段階的に施策を展開するとともに、50年、100年といった長期的な視点で取り組みを進めています。



中津川市長 小栗 仁志



市の木  
こうやまき  
(昭和49年1月5日指定)



市章  
近村合併で市域が輪のように広がり、しかもこれが団結の和を示し、これによって市勢が一段と躍進をみることを象徴したものです。(昭和30年12月19日制定)



市の花  
サラサドウダン  
(昭和46年9月1日指定)

## 姉妹都市

### 【レジストロ市】

中津川市の姉妹都市レジストロ市(ブラジル)は、サンパウロ市の南西約200kmに位置する、人口約6万人の田園都市です。

### 【長野県小諸市】・【神奈川県大磯町】

文豪島崎藤村ゆかりの地として姉妹都市になっています。

### 【長崎県対馬市】

中津川市に自生するヒトツバタゴを市の木とする対馬市と姉妹都市になっています。



レジストロ市

## 市民憲章

わたくしたち中津川市民は、

- 誇りをもって自分の仕事にはげみましょう。
- 楽しい家庭、あかるい職場を育てましょう。
- きまりを守り、住みよい社会にいたしましょう。
- 文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しいまちを築きましょう。

(昭和41年3月19日制定)



栗  
中津川市は栗を使った和菓子が有名ですが、栗の栽培も盛んです。超低樹高栽培を取り入れ、良質な栗の栽培が市内各地で行われています。



木材・木製品  
日本の木材の最高ブランドである天然の「木曾ヒノキ」と同じ環境下で人の手で育てられた「東濃ヒノキ」は、年輪幅が均等で木目が美しく、淡いピンク色で香りが良いことが特徴です。古くから木工業も盛んで、多くの木製品が作られています。



飛騨牛  
県内有数の飛騨牛産地で、市内北部を中心に飼育されています。肉質はきめ細かでやわらかく、網目のような霜降りと豊富な味わいが特徴です。



石材  
苗木、蛭川は花崗岩が多く産出され、昔から石材業が盛んです。石碑や建築、オブジェなどの大がかりなものからインテリアや生活小物まで幅広い石材加工品が作られています。



夏秋トマト  
冷涼な気候に恵まれた風土を生かしてミネラルたっぷりの土壌でこだわりのトマトが栽培されています。



夏秋なす  
朝と夜の寒暖の差がある気候を生かして、つやのいい良質な夏秋なすが市内各地で栽培されています。



シクラメン  
夏季の涼しい気候がシクラメンの栽培に適しており、市内各地で栽培されています。中でも種苗生産については国内有数の産地です。



朴葉ずし  
朴の葉には殺菌作用があり、中身が腐敗しにくいことを、先人は知っていました。おひつに入れて軽く押ししておく事によって程よくすしになじんでゆきます。



五平餅  
中津川の五平餅は、団子状のご飯を串に刺し、すりつぶした落花生、くるみ、ごまなどを加えた醤油ベースの甘めのタレを塗って焼きます。特に新米の季節に喜ばれる郷土料理です。



そば  
中津川市は県下でも有数のそばの産地です。市内では桜の湖、阿木などが産地として有名です。



## 栗きんとん

栗の実をつぶして砂糖を加え炊き上げたものを茶巾で絞る、中津川の栗きんとん。昔ながらの製法を守り、市内各店舗で味や食感が異なる風味豊かな栗きんとんを販売しています。



市公式HP  
ふるさと納税



## 地酒

中津川市は水、米が良く、寒暖差が大きいので酒造りに適しています。市内に4カ所の蔵元があり、そこで作られる地酒は蔵ごとの特徴がよく出ています。

# 次代につなぐまちづくり

若者世代を中心とした未来を担う人々を呼びこむとともに、市外への人口流出を食い止めるため、新しい働き方に対応した仕事づくりや高齢化社会で求められる分野での修学・就労支援、若者の住宅取得支援など、「定住」支援を強化しています。

農林業に携わる担い手は、森林の機能を健全に保ち、下流域も含めて人々の安全安心の暮らしを支えています。将来の森林づくりにつながる世代交代に向け、「森の担い手育成構想」を策定しました。幼い頃から木に触れ、木に学び、木を使える人材育成に取り組んでいます。



東濃ひのき（森林整備）

## 中津川市森の担い手育成支援事業

林業従事者を目指す学生の修学支援や新規林業従事者の雇用支援、資格取得支援、就労準備支援のほか、民間団体の森林教育活動の支援を実施します。



野外宿泊実習



人材育成



企業見学

## すぐ技中津川プロジェクト

市内の事業所の協力を得て、地元で働く魅力を伝えるため、企業見学などのキャリア学習を実施しています。



テレワーク

## 新しい働き方の支援

テレワーク推進やサテライトオフィス誘致に取り組んでいます。



## 若者の住宅取得支援

Uターン住宅整備や、若者世帯の住宅取得を支援する補助金交付などを実施しています。



## オンライン移住相談

市内への移住を検討している方を支援しています。

市ポータルサイト



中津川に住もう！

関連する重点施策と目指すまちのすがた（中津川市総合計画）

### 若者の地元定着・移住促進の強化

- ・未来を担う若者の市外流出を抑制し、地元定着を図り、その若者たちが多くの子どもたちを安心して産み育てることができるまち

関連する基本施策と目指すまちのすがた（中津川市総合計画）

### 働く場があり住み続けられるまち

- ・市内産業の経済活動が活発で、市内企業、新たな企業進出、起業により、若者をはじめ高齢者まで、多様な職種の働く場が確保され、生涯働けるまち
- ・農林業と製造業、商業・サービス業、観光産業等の市内産業のつながりによる相乗効果で、地域内の経済循環が活発なまち
- ・リニア開業という千載一遇のチャンスを生かし、世界に向けた情報発信や連携への積極的な取り組みが進むまち

# リニアを活用したまちづくり

中津川市坂本地区に設置されるリニア中央新幹線の駅は、新たな「岐阜県の東の玄関口」であり、来訪者に岐阜は「木の国」「清流の国」を実感していただける空間づくりと、コンパクトで利用しやすい交通拠点の整備を進めます。

このリニア駅周辺から中心市街地へ、さらには市内、県内各地へとつなぎ、リニアのもたらす効果を市内のみならず県内各地へ波及させるため、ハードとソフトを組み合わせたまちづくりに取り組んでいます。



## リニア駅周辺の整備

市街地とその先の観光地へのアクセス機能を整備して二次交通への乗り換えを円滑にするとともに、駅利用者や周辺住民などに必要な機能を確保することで、人の集まりと流れを生みだします。



自由通路イメージ

## 親水公園イメージ



各方面へのアクセス道路や駅前広場などの整備を、駅周辺の区画整理事業と合わせて行うことで、駅に近接した利便性と自然景観を生かした良好な空間を整備します。



神坂 SIC

## ひと・まちテラスの整備

中心市街地に交流と学び、にぎわいの拠点を整備しました。



## 幹線道路網の整備

リニア駅周辺から市街地へ、さらには市内外の観光地などへのアクセスを円滑にする交通網を構築するため、都市間連絡道路や神坂スマートインターチェンジを整備しています。



青木戸線

関連する重点施策と目指すまちのすがた（中津川市総合計画）

### リニア開業に向けた基盤整備

- ・市内外各地の情報を発信し、この地を訪れる人たちが地域の人が集い、交流する、岐阜県の東の玄関口となるまち
- ・ものづくり、歴史・文化、自然などが味わえる旅の目的地に選ばれ、快適で便利に周遊できるまち

中津川市では、歴史に育まれてきた街道文化や森林文化が、観光や産業と結びついて地域社会の活力を生み、安全安心の暮らしを支えてきました。リニア中央新幹線を新しい時代の「街道（みち）」と捉え、子どもからお年寄りまでが自身のライフスタイルを選びとり、一人ひとりが人生を楽しめる、若者がふるさとで生き生きと暮らし、働けるまちにしたい。そんな思いで次代につなぐまちづくりを進めています。

かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川

# まちの将来を担う人を育てる



坂本こども園



福岡小学校



福岡小学校



ICTを活用した教育

## 教育・子育て

木をふんだんに使った坂本こども園や、福岡地区の4小学校の統合を機に新築した福岡小学校など、園や学校の規模適正化と合わせて、よりよい環境で将来を担う人材育成を進めています。全小中学校で1人ずつタブレット端末を使い、ICTを活用した授業に取り組んでいます。

関連する基本施策と目指すまちのすがた(中津川市総合計画)

### 将来を担う人材が育つまち

- ・「子どもは未来の中津川のまちづくり人」という子育て理念に基づき、子どもたちの「よりよいひとりだち」を願い、心身ともに「たくましい子の育成」を目指した教育を進めるまち
- ・家庭や地域の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域が連携して、社会全体で子どもたちを健やかに育て、将来の地域やまちづくりを担っていくことができる人材が育つまち

# 健康に安心して暮らす

## 健康づくり

いきいきと 輝け健康 なかつがわ

- ・安全で美味しい地元の食材を利用して、バランスのよい食事を楽しませます
- ・豊かな自然と美しい景観に親しみながら、楽しく身体を動かします
- ・趣味や特技で生きがいをつくり、地域のきずなを大切に心の健康をめざします



「健康都市なかつがわ宣言」より

## 子育て支援

乳幼児健診や各種相談、教室で安心の子育てを推進します。また、病児・病後児保育を実施し、子育て世帯を応援しています。ほかに、市内7カ所で子育て支援センターを運営し、親子の交流や子育て相談の場としています。



病児保育所くりっこハウス



子育て支援センター



## 地域医療

救える命を救うため24時間365日ドクターカーの運用に取り組んでいます。



## 福祉のまちづくり

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症サポーターの養成や認知症カフェに取り組みしています。



認知症サポーター養成講座



認知症カフェ

関連する基本施策と目指すまちのすがた(中津川市総合計画)

### 健康に暮らせるまち

- ・誰もが健康で暮らせるよう、生活習慣病の発症と重症化の予防がなされ、ライフステージごとの健康状態が改善されているまち
- ・かかりつけ医制度が定着し、民間医療機関と公立病院の役割分担・連携により地域格差なく安心して医療が受けられるまち

### 温かい福祉のまち

- ・誰もが地域や家庭で安心して暮らすことができるよう、一人ひとりにあったサービス・支援が受けられ、年齢・障がいの有無に関わらず、多様な交流が行われ、楽しさや生きがいを実感できるまち

# 活力ある地域づくり

中津川市は古くから街道が交差する交通の要衝として栄えたまちであり、人や物が盛んに往来する中で都市部の芸能文化が取り入れられ、人形浄瑠璃や歌舞伎などの伝統芸能が各地に根付き、地域に娯楽と活力を与えてきました。

大都市への人口集中を是正し、地方の衰退を防ぐため、かつて街道の往来と人の交流がまちを活性化してきたように、関係人口による外からの視点や地域との関わりから生み出される新しい取り組みを進めています。



ワークショップ



ワークショップ



coagari

## 域学連携

大学生や大学教員が地域に入り、地域を学びのフィールドとしながら、住民やNPOなどととも地域課題解決や地域づくりに取り組む活動です。毎年多くの学生が市内で活動しています。

## 域学連携活動拠点

旧中山道の中津川宿があった本町に活動拠点となる「coagari(こあがり)」を設置し、異なる大学の学生同士の交流や地元高校生を含めた活動の企画運営、情報発信などを行っています。

## 次世代交通の研究

東京大学大学院(交通・都市・国土学研究室)と連携し、高速化する交通に対応し、地域をつなぐ交通網の在り方を検討する研究を進めています。



## 地域公共交通

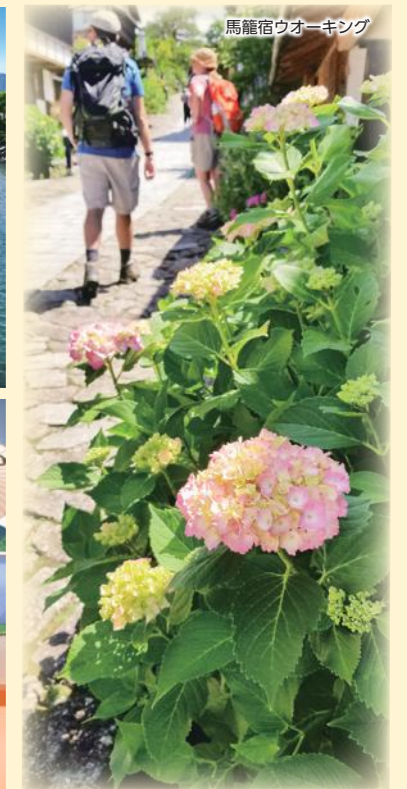
地域の生活を支える公共交通の維持、活用に取り組んでいます。

## 周遊観光の促進

ウォーキングやアウトドア、地域の文化の体験など多様なメニューを揃え、市内周遊観光を促進します。



舟の湖カヤック体験



馬籠宿ウォーキング



馬籠地歌舞伎ミニ公演

# 安全・安心、持続可能なまちをつくる



避難所開設訓練



避難所開設訓練



防災訓練

## 災害に強いまちづくり

災害に強いまちづくりをめざし、自助、共助の原則のもと、地域の防災力向上に取り組んでいます。

関連する基本施策と目指すまちのすがた(中津川市総合計画)

### 災害に強い安全なまち

- ・防災・消防・防犯体制が整備されていて、市民が安全に安心して暮らせるまち

## 持続可能なまちづくり

新しい衛生センター、リサイクルセンターを整備し、自然環境の保全に取り組むとともに、自然エネルギーの活用や環境教育の推進などに取り組んでいます。

また、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、取り組みを始めています。

2021年には、区長会連合会とのゼロカーボンシティ共同宣言を行い、地球温暖化防止に向け、各地区で取り組みが進められています。



カワゲラウオッチング



ペレットストーブ



ペレット



汚泥処理センター



中津川市ゼロカーボンシティ共同宣言

リサイクルセンター



関連する基本施策と目指すまちのすがた(中津川市総合計画)

### きれいで豊かな自然を守るまち

- ・自然エネルギーの活用やごみの減量化・再資源化、下水道の適切な維持に取り組むことで美しい自然が守られているまち
- ・森林や農地の多面的機能が発揮される里山が整備され、多様な生態系を有する豊かな自然環境と共生するまち



恵那峡大橋



UIターンの住宅

## 基盤整備の推進

道路、橋りょうなど地域の交通網の長寿命化、強靭化を進めています。また、UIターンの住宅を整備し、地域の定住につなげる取り組みを進めています。

関連する基本施策と目指すまちのすがた(中津川市総合計画)

### 便利に暮らせるまち

- ・適規模の基盤整備が図られ、秩序ある開発により、計画的に土地利用が進む便利なまち

# いきいきと暮らし ふるさとへの誇りと愛着を育む



清流木曾川 中津川リレーマラソン



東京2020オリンピック米国レスリングチーム合宿



野球場 夜明け前スタジアム



東京2020オリンピック 聖火リレー

## スポーツ振興

トップアスリートの試合や合宿誘致などで子どもたちが質の高い競技に触れる機会を創ります。ウォーキング、ジョギングコースの設定など、「8万人のヘルスアップ」と連携した「一市民1スポーツ」を掲げ、スポーツ活動による健康づくりに取り組んでいます。



司書によるおはなし会「おはなしはらっぱ」

## 公民館を拠点とした人づくり

市民の生涯学習の場、交流の場として、苗木交流センター、阿木交流センターを整備しました。



苗木交流センター



阿木交流センター

## 読書による人づくり

「中津川市民読書基本条例」に基づき、いつでもどこでも誰もが読書に親しみ、心豊かに過ごすことができるよう「読書による人づくり」に取り組んでいます。

## 文化の息づくまちづくり

文化や芸術に触れる機会、活動や発表の場をつくります。また、文化財や伝統芸能を守り、郷土の歴史を次世代に伝えます。



中津川文化会館



島崎藤村宅(馬籠宿本陣)跡(日本遺産)

関連する基本施策と目指すまちのすがた(中津川市総合計画)

### いきいきと暮らせるまち

- ・子どもから高齢者まで、誰もが生涯学習・読書やスポーツ活動に主体的に参加・参画しながらいきいきと暮らせるまち

### 歴史文化に魅力があるまち

- ・歴史や文化、伝統芸能の魅力を発信し、住む人々の郷土愛を育むまち
- ・文化芸術に親しみ、自主的に活発な文化活動が行えるまち

# 中津川市の歩み

- 昭和27年(1952年) 市制施行
- 昭和29年(1954年) 恵那郡坂本村を合併
- 昭和30年(1955年) 名譽市民条例を制定
- 昭和31年(1956年) 中津商業高校独立
- 昭和32年(1957年) 恵那郡落合村を合併
- 昭和33年(1958年) 国民健康保険を開始
- 昭和34年(1959年) 上水道完成
- 昭和35年(1960年) 落合大橋完成
- 昭和36年(1961年) 第2室戸台風により家屋の全半壊80戸、1億8,000万円の被害
- 昭和37年(1962年) 市制10周年記念式典
- 昭和38年(1963年) 市民スポーツセンター、落合簡易水道完成
- 昭和39年(1964年) 国道19号の北野・東宮町間が白山町通りから中津高校下の道路に変更
- 昭和40年(1965年) 国民体育大会卓球競技開催
- 昭和41年(1966年) 玉蔵大橋完成
- 昭和42年(1967年) 市民憲章を制定
- 昭和43年(1968年) 尾崎川上水道マンホールで5人が死亡し合同葬を行う
- 昭和44年(1969年) 「生命を守る週間」を市民運動として実施
- 昭和45年(1970年) 都市計画道路大峡線開通
- 昭和46年(1971年) 市庁舎、文化会館の落成式。市制20周年記念式典
- 昭和47年(1972年) 不燃性廃棄物処理場完成
- 昭和48年(1973年) 中央短期大学(保育科)開校
- 昭和49年(1974年) 中央自動車道恵那山トンネル二期線開通
- 昭和50年(1975年) 環境条例を制定
- 昭和51年(1976年) こび焼却場完成
- 昭和52年(1977年) 県営東津川水道完成
- 昭和53年(1978年) 市制25周年記念式典。一夜明けの森開園
- 昭和54年(1979年) 市庁舎、伊藤広道を完成
- 昭和55年(1980年) 第二次総合計画策定
- 平成2年(2000年) 第三次総合計画策定
- 平成3年(2001年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成4年(2002年) 坂本北クリンセンター供用開始
- 平成5年(2003年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成6年(2004年) 阿木川湖パターゴルフ場完成
- 平成7年(2005年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成8年(2006年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成9年(2007年) 防災備蓄倉庫完成
- 平成10年(2008年) 元気力ド保健文化賞を受賞
- 平成11年(2009年) 元気力ドを活用した健康福祉情報システムが自治大臣表彰受賞
- 平成12年(2010年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成13年(2011年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成14年(2012年) 地域インターネット運用開始
- 平成15年(2013年) 消防緊急通信指令システムの完成
- 平成16年(2014年) 長野県木曾郡山口村との合併協定調印
- 平成17年(2015年) 新中津川市誕生
- 平成18年(2016年) 一般道19号中津川バイパス完成
- 平成19年(2017年) 新鴻巣岡岡市と災害時相互応援協定を締結
- 平成20年(2018年) 長崎県対馬市と姉妹都市提携

- 昭和27年(1952年) 市制施行
- 昭和29年(1954年) 恵那郡坂本村を合併
- 昭和30年(1955年) 名譽市民条例を制定
- 昭和31年(1956年) 中津商業高校独立
- 昭和32年(1957年) 恵那郡落合村を合併
- 昭和33年(1958年) 国民健康保険を開始
- 昭和34年(1959年) 上水道完成
- 昭和35年(1960年) 落合大橋完成
- 昭和36年(1961年) 第2室戸台風により家屋の全半壊80戸、1億8,000万円の被害
- 昭和37年(1962年) 市制10周年記念式典
- 昭和38年(1963年) 市民スポーツセンター、落合簡易水道完成
- 昭和39年(1964年) 国道19号の北野・東宮町間が白山町通りから中津高校下の道路に変更
- 昭和40年(1965年) 国民体育大会卓球競技開催
- 昭和41年(1966年) 玉蔵大橋完成
- 昭和42年(1967年) 市民憲章を制定
- 昭和43年(1968年) 尾崎川上水道マンホールで5人が死亡し合同葬を行う
- 昭和44年(1969年) 「生命を守る週間」を市民運動として実施
- 昭和45年(1970年) 都市計画道路大峡線開通
- 昭和46年(1971年) 市庁舎、文化会館の落成式。市制20周年記念式典
- 昭和47年(1972年) 不燃性廃棄物処理場完成
- 昭和48年(1973年) 中央短期大学(保育科)開校
- 昭和49年(1974年) 中央自動車道恵那山トンネル二期線開通
- 昭和50年(1975年) 環境条例を制定
- 昭和51年(1976年) こび焼却場完成
- 昭和52年(1977年) 県営東津川水道完成
- 昭和53年(1978年) 市制25周年記念式典。一夜明けの森開園
- 昭和54年(1979年) 市庁舎、伊藤広道を完成
- 昭和55年(1980年) 第二次総合計画策定
- 平成2年(2000年) 第三次総合計画策定
- 平成3年(2001年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成4年(2002年) 坂本北クリンセンター供用開始
- 平成5年(2003年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成6年(2004年) 阿木川湖パターゴルフ場完成
- 平成7年(2005年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成8年(2006年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成9年(2007年) 防災備蓄倉庫完成
- 平成10年(2008年) 元気力ド保健文化賞を受賞
- 平成11年(2009年) 元気力ドを活用した健康福祉情報システムが自治大臣表彰受賞
- 平成12年(2010年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成13年(2011年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成14年(2012年) 地域インターネット運用開始
- 平成15年(2013年) 消防緊急通信指令システムの完成
- 平成16年(2014年) 長野県木曾郡山口村との合併協定調印
- 平成17年(2015年) 新中津川市誕生
- 平成18年(2016年) 一般道19号中津川バイパス完成
- 平成19年(2017年) 新鴻巣岡岡市と災害時相互応援協定を締結
- 平成20年(2018年) 長崎県対馬市と姉妹都市提携



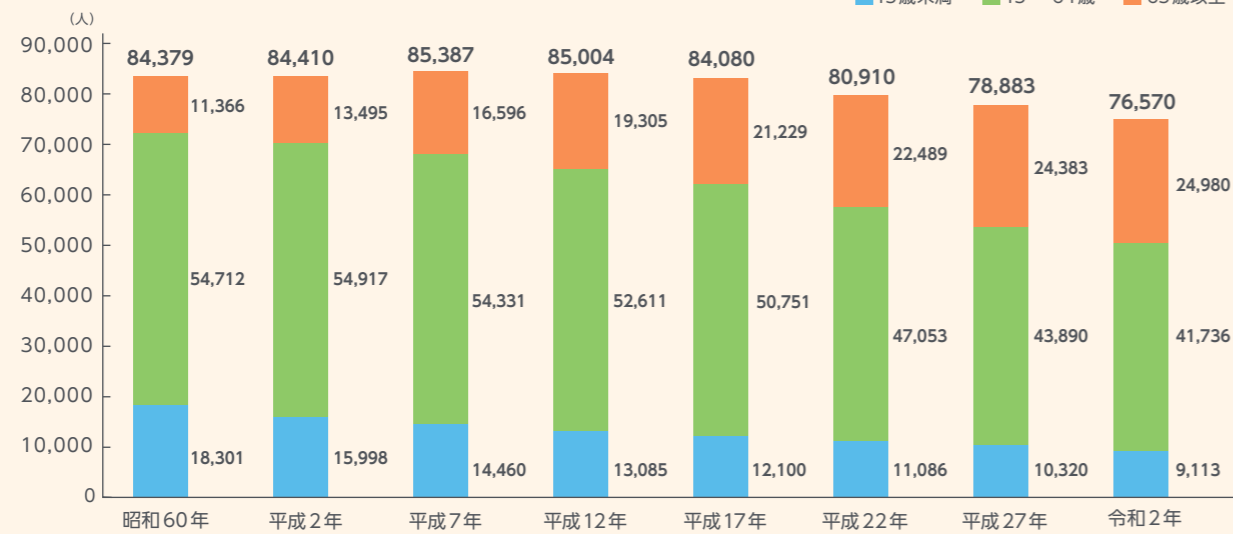
【令和4年】土地区画整理事業着工 【平成24年】市制60周年ロゴ 【平成17年】合併記念式典 【平成4年】市制40周年記念 【昭和62年】市制35周年 おいでん祭 【昭和52年】市制25周年記念式典 【昭和47年】市庁舎完成 【昭和37年】市制10周年記念祝賀会 【昭和32年】市制5周年記念祝賀自動車パレード 【昭和27年】市制施行パレード

- 昭和27年(1952年) 市制施行
- 昭和29年(1954年) 恵那郡坂本村を合併
- 昭和30年(1955年) 名譽市民条例を制定
- 昭和31年(1956年) 中津商業高校独立
- 昭和32年(1957年) 恵那郡落合村を合併
- 昭和33年(1958年) 国民健康保険を開始
- 昭和34年(1959年) 上水道完成
- 昭和35年(1960年) 落合大橋完成
- 昭和36年(1961年) 第2室戸台風により家屋の全半壊80戸、1億8,000万円の被害
- 昭和37年(1962年) 市制10周年記念式典
- 昭和38年(1963年) 市民スポーツセンター、落合簡易水道完成
- 昭和39年(1964年) 国道19号の北野・東宮町間が白山町通りから中津高校下の道路に変更
- 昭和40年(1965年) 国民体育大会卓球競技開催
- 昭和41年(1966年) 玉蔵大橋完成
- 昭和42年(1967年) 市民憲章を制定
- 昭和43年(1968年) 尾崎川上水道マンホールで5人が死亡し合同葬を行う
- 昭和44年(1969年) 「生命を守る週間」を市民運動として実施
- 昭和45年(1970年) 都市計画道路大峡線開通
- 昭和46年(1971年) 市庁舎、文化会館の落成式。市制20周年記念式典
- 昭和47年(1972年) 不燃性廃棄物処理場完成
- 昭和48年(1973年) 中央短期大学(保育科)開校
- 昭和49年(1974年) 中央自動車道恵那山トンネル二期線開通
- 昭和50年(1975年) 環境条例を制定
- 昭和51年(1976年) こび焼却場完成
- 昭和52年(1977年) 県営東津川水道完成
- 昭和53年(1978年) 市制25周年記念式典。一夜明けの森開園
- 昭和54年(1979年) 市庁舎、伊藤広道を完成
- 昭和55年(1980年) 第二次総合計画策定
- 平成2年(2000年) 第三次総合計画策定
- 平成3年(2001年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成4年(2002年) 坂本北クリンセンター供用開始
- 平成5年(2003年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成6年(2004年) 阿木川湖パターゴルフ場完成
- 平成7年(2005年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成8年(2006年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成9年(2007年) 防災備蓄倉庫完成
- 平成10年(2008年) 元気力ド保健文化賞を受賞
- 平成11年(2009年) 元気力ドを活用した健康福祉情報システムが自治大臣表彰受賞
- 平成12年(2010年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成13年(2011年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成14年(2012年) 地域インターネット運用開始
- 平成15年(2013年) 消防緊急通信指令システムの完成
- 平成16年(2014年) 長野県木曾郡山口村との合併協定調印
- 平成17年(2015年) 新中津川市誕生
- 平成18年(2016年) 一般道19号中津川バイパス完成
- 平成19年(2017年) 新鴻巣岡岡市と災害時相互応援協定を締結
- 平成20年(2018年) 長崎県対馬市と姉妹都市提携

- 昭和27年(1952年) 市制施行
- 昭和29年(1954年) 恵那郡坂本村を合併
- 昭和30年(1955年) 名譽市民条例を制定
- 昭和31年(1956年) 中津商業高校独立
- 昭和32年(1957年) 恵那郡落合村を合併
- 昭和33年(1958年) 国民健康保険を開始
- 昭和34年(1959年) 上水道完成
- 昭和35年(1960年) 落合大橋完成
- 昭和36年(1961年) 第2室戸台風により家屋の全半壊80戸、1億8,000万円の被害
- 昭和37年(1962年) 市制10周年記念式典
- 昭和38年(1963年) 市民スポーツセンター、落合簡易水道完成
- 昭和39年(1964年) 国道19号の北野・東宮町間が白山町通りから中津高校下の道路に変更
- 昭和40年(1965年) 国民体育大会卓球競技開催
- 昭和41年(1966年) 玉蔵大橋完成
- 昭和42年(1967年) 市民憲章を制定
- 昭和43年(1968年) 尾崎川上水道マンホールで5人が死亡し合同葬を行う
- 昭和44年(1969年) 「生命を守る週間」を市民運動として実施
- 昭和45年(1970年) 都市計画道路大峡線開通
- 昭和46年(1971年) 市庁舎、文化会館の落成式。市制20周年記念式典
- 昭和47年(1972年) 不燃性廃棄物処理場完成
- 昭和48年(1973年) 中央短期大学(保育科)開校
- 昭和49年(1974年) 中央自動車道恵那山トンネル二期線開通
- 昭和50年(1975年) 環境条例を制定
- 昭和51年(1976年) こび焼却場完成
- 昭和52年(1977年) 県営東津川水道完成
- 昭和53年(1978年) 市制25周年記念式典。一夜明けの森開園
- 昭和54年(1979年) 市庁舎、伊藤広道を完成
- 昭和55年(1980年) 第二次総合計画策定
- 平成2年(2000年) 第三次総合計画策定
- 平成3年(2001年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成4年(2002年) 坂本北クリンセンター供用開始
- 平成5年(2003年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成6年(2004年) 阿木川湖パターゴルフ場完成
- 平成7年(2005年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成8年(2006年) 株式会社アクリン・フーム中津川(第三セクター)創設
- 平成9年(2007年) 防災備蓄倉庫完成
- 平成10年(2008年) 元気力ド保健文化賞を受賞
- 平成11年(2009年) 元気力ドを活用した健康福祉情報システムが自治大臣表彰受賞
- 平成12年(2010年) 落合地区特定環境保全公共下水道供用開始
- 平成13年(2011年) 東海豪雨で40連日を超す甚大な被害が発生
- 平成14年(2012年) 地域インターネット運用開始
- 平成15年(2013年) 消防緊急通信指令システムの完成
- 平成16年(2014年) 長野県木曾郡山口村との合併協定調印
- 平成17年(2015年) 新中津川市誕生
- 平成18年(2016年) 一般道19号中津川バイパス完成
- 平成19年(2017年) 新鴻巣岡岡市と災害時相互応援協定を締結
- 平成20年(2018年) 長崎県対馬市と姉妹都市提携

# 人口

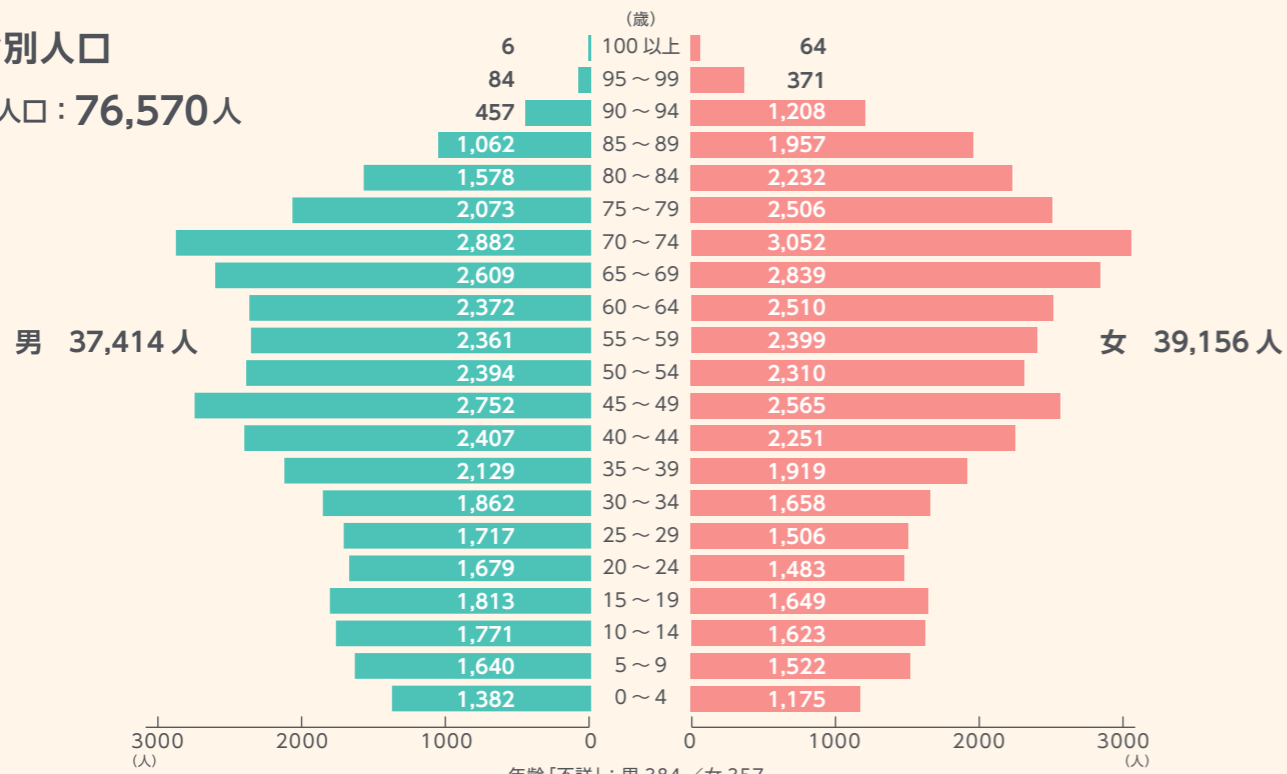
## 人口の推移 年齢3区分



資料：国勢調査（平成12年以前は現在の中津川市の区域の数値）  
※年齢不詳人口は除いて算出

## 年齢別人口

総人口：76,570人



資料：国勢調査（令和2年10月1日現在）

## 地区別人口・世帯数

市全体

世帯数：29,690世帯  
人口：76,570人

地区	中津地区	苗木地区	坂本地区	落合地区	阿木地区	神坂地区	山口地区
世帯数	11,808	2,288	5,024	1,392	701	441	359
人口	27,037	6,401	13,076	3,667	2,083	1,222	955

地区	坂下地区	川上地区	加子母地区	付知地区	福岡地区	蛭川地区
世帯数	1,582	274	904	1,758	2,155	1,004
人口	4,305	719	2,498	5,332	6,197	3,078

資料：国勢調査（令和2年10月1日現在）

## 中津川市の1日 (R3年)

結婚 0.6組

出生 1.2人

死亡 2.9人

転入 5.6人

転出 6.4人

離婚 0.3組

火災 0.1件

交通事故 (物損事故) 4.5件

救急出動 8.3件

## 中津川市の市民生活

1世帯当たりの人数 2.6人 (R2年国勢調査)

1世帯当たりの自動車保有台数 2.3台 (R3年)

1世帯1日当たりの可燃・不燃ごみ排出量 2.1kg/日 (R元年度)

市民1人当たりの一般会計決算額 622,732円 (R2年度)

市民1人当たりの市税 143,310円 (R2年度)

市職員1人当たりの市民数 59人 (R3年)

教員1人当たりの生徒数 小学校10人 中学校9人 (R3年)

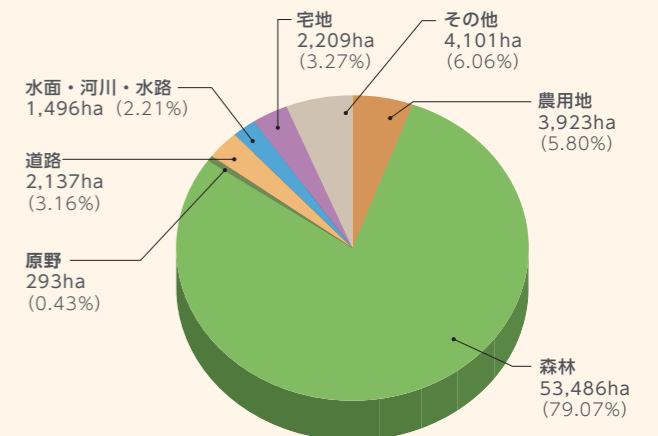
医師1人当たりの市民数 736人 (H30年)

## 自然

最高地点：恵那山山頂 標高 2,191m

最低地点：和田川と木曾川の合流地点 標高 230m

本庁の位置：東経：137度30分12秒0  
北緯：35度29分7秒3  
標高：323.11m



地目別面積：総面積 67,645ha

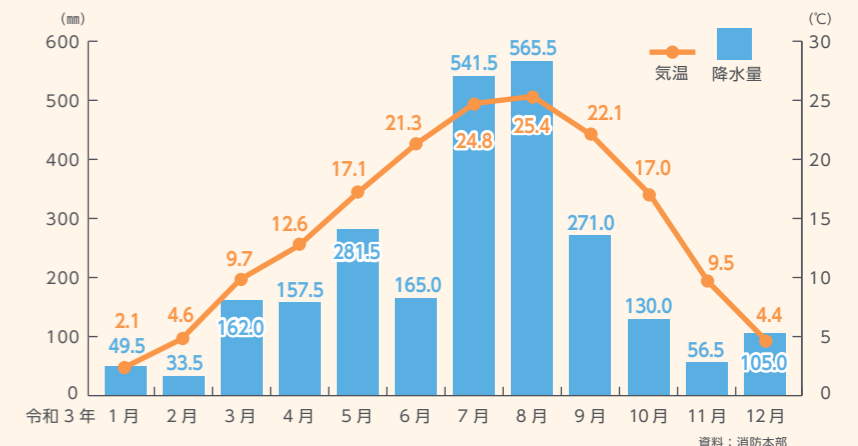
資料：岐阜県都市政策課（令和元年10月1日現在）

## 気候

平均気温：14.3℃ (令和3年)  
1月平均気温 2.1℃  
8月平均気温 25.4℃

年間降水量：2,519 mm (令和3年)

内陸性気候で昼夜の寒暖の差が大きく、過去5年間平均降水量1,825mm(平成29年～令和3年)と全国的に見て、平均的な降水量の地域といえます。8月の平均気温は25.4℃と過ごしやすく、冬も最低気温-7.4℃(令和3年)で降雪量も比較的小さいため、1年を通じて過ごしやすいところといえます。



統計から見た市民の暮らし

# 観光カレンダー

Events Calendar

## 3月

- ・あぎの里のひなまつり・つるしかざり
- ・東濃歌舞伎中津川保存会吉例歌舞伎大会
- ・常盤座歌舞伎保存会定期公演(常盤座)

## 4月

- ・付知峡山開き
- ・桜の湖さくらまつり
- ・杵振り花馬祭り

## 5月

- ・根の上高原つつじ祭
- ・つけち「森林の市」
- ・ひとつばたご祭り

## 8月

- ・ふくおかふるさとまつり
- ・なめくじ祭り
- ・おいでん祭
- ・かしの夏まつり
- ・つけち夢まつり
- ・与三郎まつり
- ・夏の夕森もみじまつり

## 9月

- ・桜の湖そばの花まつり
- ・うまいもん祭り

## 10月

- ・やさかふるさと花火大会
- ・花馬まつり
- ・つけち全国レディース・クラフトフェア
- ・蛭川歌舞伎公演(蛭子座)
- ・東山道もみじ祭り
- ・ふるさとじまん祭・菓子まつり
- ・加子母歌舞伎公演(明治座)

## 11月

- ・中山道中津川三宿街道まつり
- ・夕森もみじまつり
- ・ふくおか産業祭
- ・ひるかわMAIKA祭
- ・坂下歌舞伎公演

## 12月

- ・東濃歌舞伎大会

## 1月

- ・五日えびす
- ・十日えびす

## 2月

- ・馬籠宿 氷雪の灯まつり

春

夏

秋

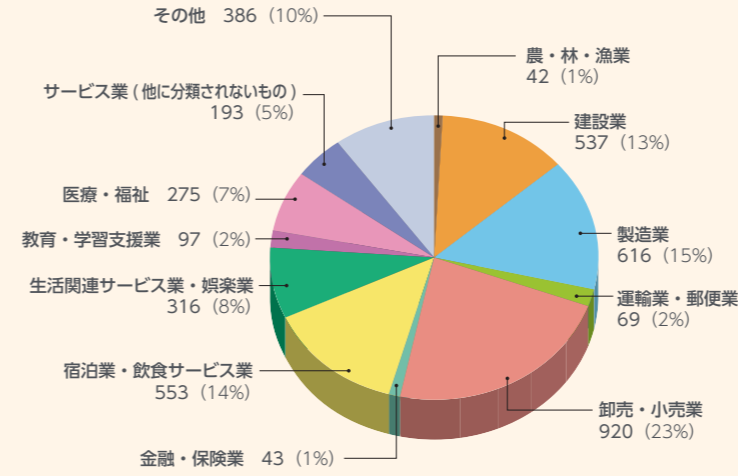
冬



# 産業

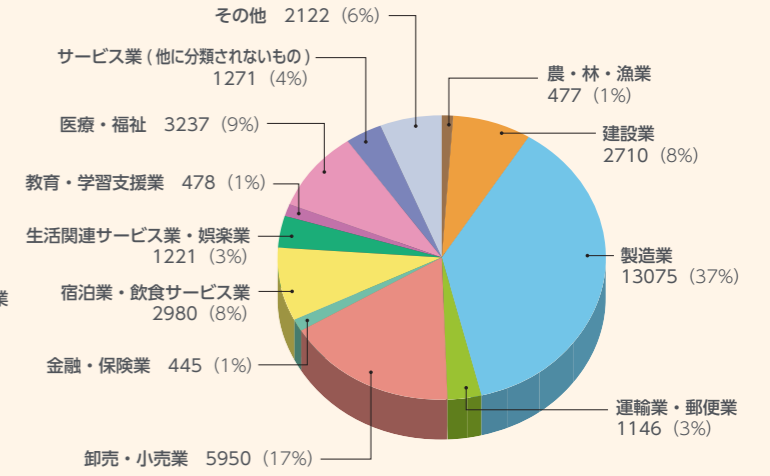
## 産業分類別事業所数

総数：4,047 事業所



## 産業分類別従業者数

総数：35,112 人



資料：経済センサス-活動調査【民営事業所】(平成28年6月1日現在)(単位：事業所・人)  
※その他 鉱業、採石業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、複合サービス事業

## 農家戸数・耕地面積

農家	販売農家 割合42%	1,753 戸
	自給的農家 割合58%	2,464 戸
	総農家	4,217 戸
耕地面積	田	3,180 ha
	畑	727 ha
	計	3,910 ha

資料：農林業センサス(令和2年2月1日現在)

## 林家戸数・保有山林面積

林家	2,614 戸
保有山林面積	11,768 ha

資料：農林業センサス(令和2年2月1日現在)

## 保有形態別森林面積

	合計
立木地	36,286
	人工林 23,196
	天然林 13,091
無立木地	740
	伐採跡地 24
	未立木地 740
竹林	217
その他	471
合計	37,739
人工林率	61.5

資料：林業振興課(令和3年3月31日現在)(単位：ha・%)

## 製造業 事業所数・従業者数・製造品出荷額等

事業所数	従業者数	製造品出荷額等
248	12,494 人	43,802,668 万円

資料：工業統計調査(令和2年6月1日現在)  
※従業者4人以上の事業所

## 卸売・小売業 商店数・従業者数・年間商品販売額

商店数	従業者数	年間商品販売額
780	4,971 人	131,253 百万円

資料：経済センサス-活動調査(平成28年6月1日現在)

## 六斎市(2月～12月の第一日曜日)

中山道中津川宿内の本町から新町地区の一角を歩行者天国とし、農作物や特産品などの販売やバザー、親子で楽しめる各種イベントなど開催しています。

※開催月は年によって変更となる場合があります。



市公式 HP



観光情報サイト

市公式 SNS



Instagram